

報告 第12回ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会

1. 総会の概要

開催期間	平成30年6月12日（火）～15日（金）
開催場所	クラフク市・カトビーチェ市（ポーランド共和国）
開催テーマ	クリエイティブ・クロスロード
参加都市	ユネスコ創造都市ネットワーク7分野加盟都市（180都市）から140都市参加
開催内容	ユネスコ本部による方針、戦略、将来展望の説明 分野別会議（工芸・デザイン・映像・食文化・文学・メディアアーツ・音楽） 市長フォーラム 分野横断会議&ワークショップ



総会オープニングメッセージ

2. 総会の主たるポイント

- 2030年に向けたユネスコの取り組み方針の明確化（SDG,s : 持続可能な開発目標の達成）
- 2017年に新たに64都市が新規加盟（うち音楽都市は12都市増）
- 2010年から2013年に加盟した22都市の事業レポート・実践例の紹介と評価
- クリエイティブ・クロスロード、分野横断型の連携強化
- 2019年総会（イタリア・ファブリアーノ市）の案内
- 2020年総会開催候補都市の選任（ブラジル・ベラン市、サントス市、メキシコ・プエブラ市）



世界各都市からの参加者



■分野横断別会議の様子
ワークショップ2・デジタルの最前線

- ・最先端のデジタル技術を活用した街中アートの展開や若年層の読書を促進する効果的なソフトの開発など、メディアアーツ、文学、デザイン等の分野を横断する共同事業の実践例が紹介された。
- ・オースティン、トロント、メルボルン、クラフク、バルセロナ、ボストン、ビョーク、浜松市、札幌市等が参加



■分野横断別会議の様子
グループ2・価値創造

- ・カトピーチエ市で活動するクリエイティブな共同事業体「antyRAMA」によるワークショップ
- ・創造性を喚起しイノベーション創出や、起業家を創出するために必要な8つの要素(課題)を洗い出すため、各グループでの議論を進めた
- ・浜松市が参加したグループでは、創造空間・社会包摂・ネットワーク・公的政策・アイデアの湧出・教育・調査研究・財政的支援の8つの要素を話し合いにより設定した。



■7分野からの事業報告

- ・工芸・デザイン・映像・食文化・文学・メディアアーツ・音楽の7分野から一年間の取り組み内容について発表があった。
(写真は食文化分野の発表)
- ・音楽分野は、ドイツ・マンハイム市が代表して発表を行った。

3. 今後の方向性について

- ✓ ユネスコ創造都市ネットワークに加盟する国内8都市の連携（10/27に合同会議開催予定）
- ✓ 国内外の加盟都市と連携したサウンドデザインの調査研究の促進
- ✓ ユネスコへの事業レポートの提出（浜松市の2014年から4年間に亘る事業の成果報告）